

宮城県仙台二華中学校・高等学校  
Miyagi Prefectural Sendai Nika Junior & Senior High School

Super Global High School SGH

# SGH

NEWSLETTER

Vol.5  
2015  
平成27年10月28日

発行 宮城県仙台二華中学校・高等学校  
〒984-0052 宮城県仙台市若林区蓮坊1丁目4番1号  
<http://www.nika.myswan.ne.jp/>

## Contents

1. 講師紹介
2. メコン川フィールドワーク実施報告 Bayon中学校編
3. メコン川フィールドワーク実施報告 アンコールクラウ村編
4. JICA研修～アジア・アフリカの教育関係者を受け入れ～報告

## 講師紹介

ここでは、本校のSGHで継続的に世話になる講師の先生をお一人ずつ紹介していきます。

今回は本校非常勤講師のMs. Ananya Sritawan (通称Beamさん)をご紹介します。BeamさんはタイのNonthaburi(バンコクから北へ15kmくらい)出身の大学院修士課程の2年生です。来年の9月まで風間先生、小森先生の研究室で研究しています。

Hello everyone my name is Ananya Sritawan my nickname is Beam, so you can call me Beam. I come from Thailand and I was born and raised in Bangkok but I moved to Nonthaburi where is 10 miles away from Bangkok. Now Sendai is another home of mine, because I decide to study master degree at Tohoku University since October 2014 and what I study in my master degree is Environment that emphasize on hydrology and climate. Therefore if you have any question that relate to my major please feel free to asked me, I'll try my best to give you an answer.

The reason that I came here not only for

study but also to build up my experience and last semester I have got an great opportunities to come to Nika high school as an adviser for the student who doing research about water issue Mekong River, which is such a great experience for me. Since while I was on my duty as an adviser for the student, I also got many things from the student at the same time such as they introduce me some technologies that I never heard before as well as the ideas that came out from student those are really great and creative. Therefore to come to join the class Nika-high school it's not just to give them an advice but I'll get some new and interesting knowledge as well. I think this class is very unique and worthwhile because this class gives an opportunity to high school student doing the research like a University student and go to the real study site. Therefore the student can learn not only in the classroom, in my opinion this was a brilliant ideas and by the process of doing research in this class is going to be a great work experience for the student to use in their future.

This semester I still join the class, so I hope we can enjoy and learn together. Lastly for everyone who are doing the research right now, I hope you are enjoy with it and keep going for make a good research. がんばってください!!!.



## SGH Field Work 平成27年度第1回メコン川フィールドワーク実施報告(後編)

### ◆ Bayon中学校(シエムリアップ/カンボジア)

私たちは8月7日、トンレサップ湖を訪問した後にアンコールクラウ村にあるバイヨン中学校を訪問しました。中学校では元メコン川委員会カンボジア代表のSokさんによるメコン川の国際問題についての講義、バイヨン中学校生徒による魚についての研究発表を聞かせていただき、最後に生徒を対象とした水と健康に関するアンケート調査を行いました。

Sokさんとは前日の夜に合流し、意外と知らなかったトンレサップ湖とメコン川の国境を越えた問題や、カンボジアのヒ素の問題も詳しく知ることができ、今後研究をするうえでの基本となる知識を得られたと思います。

生徒の研究発表は魚の面白い特徴や魚が減った原因など、テーマも調査方法もとても興味深いものでどの発表も聞いていて楽しかったです。また、生徒が発表を積極的に聞く姿を見て、生徒全員の力で楽しい授業を作り出している気がしました。

アンケート調査では大人数に短時間で質問を出来るという利点がある一方で、正確性が低いという問題点も見つかったので次回のフィールドワークまでに改善していきたいです。

中学生との交流、同じ日の夜のクラウ村でのホームステイを通して現地の人々の日常生活を間近で見ることができ、とても良い経験になったと思います。



Sokさんによる講義



バイヨン中学生による研究発表



ホームステイでの調理体験



バイヨン中学校の生徒と記念撮影

アンコール・クラウ村での様子が、お世話になったJSTのブログに3回にわたって掲載されました。是非ご覧ください。

<http://www.jst-cambodia.net/m/2015/08/post-226.html#002180>

<http://www.jst-cambodia.net/m/2015/08/post-227.html#002182>

<http://www.jst-cambodia.net/m/2015/08/post-232.html#002192>

なお、JSTのホームページもご覧ください。

<http://www.jst-cambodia.net/about.html>

## ◆ アンコール・クラウ村（カンボジア）

8/8(土)にアンコールクラウ村でA班B班わかれてインタビュー調査をした。私たちA班の1軒目は5人家族で建築士の女性の方だった。クラウ村はライフラインが整えられていないので上下水道の設備はなく、家事・洗濯は近くにある井戸を使っている。稲作も行っているようで、洪水が起きたときは既に田植えをした状態だと回復まで15~30日かかり、まだ田植えを行っていなかった場合はその年は稲作を行わないということだった。2軒目は農家のお宅で、井戸水を煮沸して飲用している。訪問客には市場で購入したボトルウォーターを提供しているという。食材は2年前までは自分で育てていたがアプサラの影響で池に水が入らなくなったので、現在は市場から買っているようであった。3軒目では腰痛や結核、さらには胸に新しい骨ができるといった病気に悩まされているお宅だった。貧しさゆえに、子供2人を施設に行かせることができないという状況であった。

同じ村に住んでいるはずがこんなにも貧富の差が出てしまうことは悲しいものであり、また大きな問題であると思った。クラウ村はほとんどの家で屋外排泄を強いられている地域であり衛生環境が整えられている生活とは言えない状態であった。しかし住民はさほどトイレのことを気にかけている様子ではなく、「屋外排泄」が文化になってくるとトイレを設置することに住民の意識改革も必要となってくる。世界では完全に屋外排泄を撤廃した地域もあり、その地域住民は「もっと早くトイレがあったらよかった」と話している。クラウ村の方々にトイレがあることの安心感や清潔感を早く感じてほしい一心でこれからもトイレ研究を続けていく。



水質調査の様子



インタビュー調査の様子

お世話になったアンコール・クラウ村のタウリーさんにお礼の手紙を書いたところお返事を頂きましたのでご紹介します。

JSTの皆様、私は8月7日、8日にお世話になった仙台二華高校の生徒です。

私たちは水問題をテーマとして研究やフィールドワークを行ってきましたが、去年の冬のフィールドワークでは事前準備の不足もあり、十分に現地の人々の声を聴くことができませんでした。

しかし、今回アンコールクラウ村を訪問し、インタビュー調査を行う際にJSTの方々から2年前に実施したという調査のまとめと家の配置図があったことで、調査を段取り良く進めることができ、次回からのフィールドワークで事前に準備しておくべきことも学ぶことができました。また、調査のデータがあったおかげで様々な職種・収入・飲料水の水源で生活する人々からお話を聞くことができ、私たち6人はもちろん、学校に残って私たちをサポートしてくれた生徒たちの研究にもとても役に立つ調査となりました。

また、トンレサップ湖でのインタビュー調査でも言葉だけでなく現地の状況をほとんど知らない私たちにも理解できるように噛み砕いた説明をしてくださり、ありがたかったです。バイヨン中学校の授業にも参加させていただき、魚に関する研究発表は私たちの学校の生徒に比べて着目する点が本当に多様で、聞いていて興味深く刺激を受けました。今回の調査・経験を踏まえ、個人個人の研究も頑張りたいと思います。

もっと長い時間をかけ、多くの人々の話をもっとじっくり聞かせていただきたかったのですが、2日間という短い時間の中でも、村人の生活とふれあい、楽しく過ごすことができました。

今回は本当にありがとうございました。

仙台二華高校 皆様、

ご丁寧なメッセージ、ありがとうございました。

JSTに勤めているスタッフのタウリーです。水問題に関するインタビューの通訳をさせていただきました。

通訳のときは日本語のレベルがまだまだだったかもしれませんが、私にとっては、今までぜんぜん気がつかなかったトンレサップ湖の魚、水問題とアンコールクラウ村の村人の生活問題をよく理解することができました。インタビュー調査の仕方や準備のことなども学ぶことができました。そしてインタビュー調査の結果は、仙台二華高校の学生さんだけではなく、JSTの次の活動にも立つと思います。

これからもよろしくお願ひします。

そして、また来年も仙台二華高校の皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

タウリー

## JICA研修 ～アジア・アフリカの教育関係者を受け入れ～

10月8日(木), JICA研修「教員養成課程における方法と技術」の一環でアジア・アフリカの8カ国から教育省の教員養成担当者や教員養成系大学の関係者ら13名を受け入れました。

この研修プログラムに参加した研修生の国々では, 現在教育改革に取り組んでおり, 中でも教員養成の質の向上を目指しているそうです。そこで, 今回の研修はJICAと宮城教育大学のコラボレーションのもと約3週間に渡って実施され, 日本の教員養成制度について研修するとともに, 実際に教育現場を訪れ, 授業を見学したり教員との意見交換などを行いました。

そのうちの1日が仙台二華での研修で, 本校からは中高一貫教育やスーパーグローバルハイスクール(SGH)の取り組みなどを紹介しました。研修生の皆さんは, 本校の教育活動に興味津々で, 意見交換会では数多くの質問が出されました。「世界の水問題」をテーマに取り組んでいる本校の課題研究に関しては, インターネットを活用した自国の学校との交流を提案する方々もいました。

また, 研修生は中学校・高校の授業を参観した後, 高校2年生の「SGH課題研究ⅡA」の授業に参加しました。各グループに2人ずつの研修生に入ってもらい, 事前に依頼していた自国の水問題に関するプレゼンテーションとディスカッションを英語で行ってもらいました。実際に生の声を聞いた生徒にとっては, 自分が研究しているタイ・カンボジアを中心とした水問題と, 他国, 特にアフリカ諸国との問題を比較することができ, とても貴重な経験となりました。



グループ・ディスカッションの様子



グループ・ディスカッションの様子2

<研修参加者>

○カンボジア

教育青年スポーツ省教師教育部教員養成室副室長

○ラオス

教育スポーツ省教師教育部事務局副局長

教育スポーツ省サワナケート教員養成大学副学長

○バングラデシュ

初等大衆教育省国立初等教育アカデミー局長

初等教育局教員養成校教育長

○ミャンマー

教育省教師教育部ミャウグミャ教員養成校長

○ブータン

ブータン王立大学パロ教育大学教務部長

○ザンビア

教育省チャールズ・ルワンガ教員養成校長

○エチオピア

教育省教員・学校経営者養成部教員養成教育指導官

○マラウイ

教育科学技術省ドマシ教員養成校人文学部長

マラウイ教育研究所政策評価研究部長

マラウイ工科大学教育メディア学部長

マラウイ大学チャンセラー校養育学部副学部長



授業参観の様子



課題研究ⅡAの生徒と記念撮影